

令和4年度光西福祉会事業報告

1. 令和4年度の計画を振り返って

(1) コロナ禍における状況

令和4年度もコロナウイルスは新しい株に置き換わりながら感染拡大と収束を繰り返し、まったく留まる兆が見えなかった。ただ、年末になると国は「5月にはコロナウイルスを2類から5類に引き下げる」方向で審議に入った。それに伴いマスクの強要は緩やかになり、感染者数の報告も大まかになってきた。それに伴い、自己管理が求められることとなった。肝付町内の保育所・こども園での感染状況は、緩和化により細かい情報が入ってこなくなり把握しにくくなった。ただ、子どもたちへのマスク解禁は見られているが、園職員間では安心安全の為か、あまり進んでいない。

令和4年度の保育行事や法人事業は、昨年よりやや緩やかにコロナウイルス対策に配慮しながら、参加者縮少は壊すことなく乗り切った。

理事会、評議員会、監事監査等についても、換気、ソーシャルディスタンスに配慮しマスク着用で開催した。開催日程については、次回の理事会日を大まかにお知らせし、理事会開催日1か月前までにハガキにて連絡通知した。資料は事前に配布、持参の上、参加をお願いした。欠席者はいなかった。

(2) 法人事業所内連携

職員間の連携については、月1回の企画会で審議し、それぞれの事業の状況を話し合い助け合った。事務についても担当者はこども園本部へ出向き共同作業をする中で共通理解と連携を図った。さらに、職員会議、ブロック会議の充実を図り、法人の組織強化を進めた。ただ、主任保育士若松が育休で不在だったり、長期病休の職員が2人いたり、学童クラブでは途中退職入職者の入れ替えが激しく、非常勤職員会議や学童のブロック会議やミーティングが充実しなかった。その為、同僚性に課題を残した。

2. 令和4年度実施事業

(1) 工事関係（放課後児童健全育成事業のみ）

- ・雨戸取替、雨樋修繕
- ・第Ⅱ学童館内装改修工事

(2) 地域関連機関との連携

- ①療育機関……通所幼児について療育機関との面談を定期的実施（3か所）
- ②小学校……幼保小中連絡会（施設長会3回、専門部会2回）
- ③町行政……町保健課・福祉課と子育て支援センターは定期的会議

(3) 自主事業

- ①地域とのふれあい事業（上の原振興会…種まき、作物栽培、収穫体験）
- ②職場体験受け入れ事業（高山准看護学校、高山中学校、楠集中）
- ③保育養成校（短大等）実習生受け入れ…3名
- ④作業療法士介入保育（月2回）
- ⑤英語体験（ALT月1回、リサさんと遊ぼう月1回）
- ⑥遊びミーティング（鹿屋体育大学教授森司郎氏を交えて「遊び」を検証…月1回）

3. 監査実施内容

(1) 内部経理監査……監査職員（保育士 江之口好恵）

①実施期日 令和4年10月25日（水）10時～15時

(2) 外部監査（3回）…監査員：公認会計士 小林千鶴

①実施期日 令和4年5月17日（火）10時～14時

令和4年10月14日（火）10時～12時30分

令和5年3月17日（水）10時10分～12時10分

(3) 監事監査……監事（長谷川勤、渡邊敏哉）

①実施期日 令和4年5月20日（金）13時から18時（令和3年度分）

(4) 県指導監査

①実施期日 令和4年9月14日（水）9時30分から12時

②監査方法 集合（大隅地域振興局：理事長、副園長2名）

③監査職員 指導監査係担当職員1人

4. 理事会・評議員会等の実施

(1) 理事会

①第1回光西福社会理事会 令和4年5月27日（金）16時30分～18時

②第2回光西福社会理事会 令和4年10月28日（金）16時30分～18時

③第3回光西福社会理事会 令和5年3月22日（水）16時30分～18時

(2) 令和4年度定時評議員会 令和4年6月10日（金）16時30分～17時30分

(3) 令和4年度相談・苦情解決委員会 令和4年4月23日（土）16時30分～18時

5. 理事出会研修

(1) 社会福祉法人ブロック別監事等研修会……長谷川勤監事出会

①日時 令和4年12月10日（金）13時30分から15時30分

(2) 鹿児島県保育事業研究大会≫リモート研修

①日時 令和5年2月10日（金）10時～12時……理事長参加

6. 職員の動静

(1) こども園（令和4年4月1日～令和5年4月1日）

・退職…正規保育士3人、正規栄養士1人、常勤契約看護師1人

・採用…正規保育士1人（新規採用）、臨時保育士1人、常勤契約栄養士1人

(2) 学童クラブ（令和4年4月1日～令和5年4月1日）

・退職…常勤学童支援員1人（4月）非常勤学童支援員2人（9月）

・採用…常勤学童支援員2人（4月、1月）、

…非常勤学童支援員2人（6月、10月）

(3) 子育て支援（令和4年4月1日～令和5年4月1日）

・退職…非常勤子育て支援員1人

・採用…常勤子育て支援員1人

令和4年度 高山こども園事業実施報告

1. 保育について

「思いやりと意欲のある子どもを育てる」という保育目標のもと、職員が気づいたことを互いに伝え合い、自分自身の保育の視野を広げた結果、充実した保育活動が展開された。計画・実践・見直し・再実践のPDCAサイクルを保育に活かすことができた。昨年度は、保育者の専門性とは何なのか、職員間で再度確認しあいながら、子ども達に対して、肯定的な言葉かけを行い、応答的に関わることを意識できるような研修も取り組んできた。その中で、子ども達が安心して生活し、自分でできるような物的環境をつくること、指示したくなる気持ちは我慢して、子どもを信頼して待つということが大切だということ学んだ。子ども達が主体的に行動し、自己決定してほしいと願うのであれば、子ども達への信頼であふれた保育を展開していきたい。今年度は、昨年度の反省を踏まえ、子ども達の多様性を理解した上で、自己肯定感を育むことができる関わりを目指していく。また、子ども達が主体的に遊びを展開する為に、戸外の環境の見直しを、3つのグループ(自然・砂場・遊具)に分かれて行い、物的環境や人的環境の保障を、年間意識して取り組んできた。遊びを深める際に生まれる、子ども達のつぶやきから、保育者が考えさせられることも多々あり、今年度は、子ども達のつぶやきから生まれる空間づくりをテーマに、子ども達の主体性を大切にした保育活動を目指していきたい。これから先も、保育に必要な技術や方法を学びあい、保育者同士の連携並びに質の向上を目指す。職員間で声を出し合い、目の前にある困り感を、みんなで紐解いていくことや、日常の会話を大切にしていくなかで、自然と同僚性も育むことができたのではないかと。

また、コロナウイルス感染症の心配は続いてきたが、行事や保育活動においても、そのつど感染症対策をとりながら、子ども達にとって...と最善の利益を問いながら、職員で考えあい実施することができた。

キャリアアップ制度では、専門リーダーや分野別リーダーを配置し、年間計画を作成し具体的にどのようなことに取り組んでいくかを示してもらい、専門性の向上を図った。次年度も各リーダーが自分自身の力を伸ばしながら、他職員へアプローチをし、園全体の質の向上につなげていきたい。

2. 職員園内研修

月	研修内容	
4月	事例検討	保育者の関わりの実践！～保育の専門性に基づいて～part1
5月	実践研修	自発的な活動を生み出す環境構成を見直す～戸外～part1
6月	実践研修	子ども理解～子どもを行き詰らせない保育実践～
7月	事例検討	食育～楽しい食事の在り方について家庭と共に考え合うアプローチ方法
8月	保育研究	りす組～各視点より考え合う～
9月	実践研修	遊びを深める保育実践 ～子どものやりたい！を引き出す導入～
10月	理論研修	看護の視点と保育の視点より～ケガ対応や応急処置について～
11月	保育研究	きりん組～各視点より考え合う～
12月	実践研修	保育者の関わりの実践！～保育の専門性に基づいて～part2
1月	保育研究	食育活動の振り返り
2月	実践研修	自発的な活動を生み出す環境構成を見直す～戸外～part2
3月	反省及び来年度への課題	

3. 家庭との連携

日々、子ども達の送迎時に保育の様子を口頭で伝え連携を図っている。また、その都度、保護者からの相談もあり、面談へとつながったケースもいくつかあった。連絡帳へもほぼ毎日こども園での様子を伝えている。保護者からの返信もあり、密な連携になっている。「クラス便り」は月2回、「園便り」を月1回、随時「安全・保健たより」を発行。コロナウイルス感染症の心配もあり、近年クラス会の実施は難しかったが、年長児は2月に行うことが出来た。保護者の役員会が年8回開催。行事は家庭との交流を図る最適の場であるので、感染症対策をしっかりと、少し制限を緩和しつつ、行うことが出来た。保護者に対して保育の見える化を図るためにも、保育室に活動写真の掲載を行ったり、保育体験デーを実施し、子どもの姿や園生活への理解を深めている。また、コドモンアプリを取り入れたことによって、お知らせ配信をスムーズに行えるようになった。アプリの利便性も上手に使いながら、保護者支援に努めていきたい。

4. 行事について

・毎月1回は必ず実施される行事

交通安全指導、避難訓練、職員研修、職員会議(常勤・非常勤)、お寺の日、ブロック会議、安全点検、身体測定、企画会、ALT訪問、英語でリサさんと遊ぶ、遊びミーティング

・体操集会5、6月ほぼ毎日・お話集会11月～3月間週1回

4月	入園式 クラス会 探検の日 相談苦情第三者委員への報告会	10月	運動会予行練習 職員健康診断 運動会 内部経理監査
5月	探検の日 役員会 高山准看実習受入れ	11月	秋の遠足 役員会 保育体験DAY 護美の日 観劇会
6月	歯科検診 内科検診 護美の日 探検の日 高山准看実習受入れ	12月	もちつき大会 お寺の日(クリスマス会) 探検の日 内科検診
7月	プール開き 七夕会 保育体験DAY 役員会 夕涼み会	1月	探検の日(たこあげ)
8月	お盆保育 役員会 鹿児島女子短大生保育実習 コスモス種まき	2月	節分会 第一幼児短大・中九州短大生保育実習 こどもまつり
9月	役員会 探検の日	3月	雛祭り会 役員会 お別れ会 春の遠足 新入園児面接 卒園式

令和4年度 病後児保育コアラ館 事業報告

1. 事業について

今年度で4年目となり、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もあり預かり人数は、定まらないが、年間利用者数は105人・利用回数は242回の利用であった。

時期によって流行しやすい病気や、保育に関する学習・実践を用いた討議を職員研修の中で行い、また病状により部屋調整を行い安全で安心な保育看護の実施に努め、二次感染症を起こすことなく運営ができた。

2. 利用状況

病名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
気管支炎	4	8	0	13	0	4	14	2	0	3	4	17	69
急性上気道炎	0	1	1	2	0	0	4	0	2	1	0	8	19
気管支肺炎	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
咽頭炎	0	0	2	0	5	2	2	2	0	0	2	2	17
喘息性気管支炎	0	0	0	3	0	0	1	0	2	0	0	0	6
咽頭喉頭炎	2	0	0	8	1	2	15	2	0	0	4	1	35
RSウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
コロナ後食欲不振	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
感冒	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
突発性発疹症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
急性胃腸炎	0	0	1	28	0	3	0	1	0	3	1	1	38
腸炎	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
嘔吐下痢症	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
嘔吐症	0	2	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	13
下痢症	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5	12
喘息発作	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
眼瞼挫傷	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
膿痂疹	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	19	12	71	7	12	37	10	5	8	16	36	242

上記の表にて、気管支炎が一番多い疾患であり、7月の利用者数が一番多かった。

3. 家庭との連携

病気回復期にある子どもの病態に合わせた保育看護の実践を行えたのではないかと考える。

送迎時に、コアラ館利用中の子どもたちの様子がわかるよう申し送りを行い、病気回復期の子どもを預ける保護者の思いに寄り添えるよう傾聴していくことに努めた。

また、予約時に新型コロナウイルス感染症に関する問診を聴取し、子どもの病態に合わせて部屋調整を行い、感染予防策を講じた。

病気回復期にあたる子どもたちをお預かりする上で、預ける保護者の思いや要望を聞き受け入れていくことも大切であるが、状況によっては子どもの安全を一番に考えて保護者と共通理解していかなければならない。7月には、アレルギー対応食についての対応が変更となり、丁寧に説明を行い、継続利用して頂く事ができた。

4. コアラ館内研修

4月	本年度の目標
5月	危険個所の確認と避難訓練
6月	子どもの気持ちを理解する
7月	熱中症について
8月	ヘルパンギーナについて
9月	室内遊び(実践)
10月	保護者の気持ちを知る
11月	わらべうた遊びについて
12月	感染性胃腸炎
1月	感染対策～嘔吐物処理実践～
2月	不審者対応
3月	反省及び来年度への課題

5. 広報活動について

去年冬から始まったコアラ館通信を発行することができた。地域に回覧をしたり従来からのポスター掲示場所に掲示を行った。掲示場所は、月1回の見回り、点検と補充を継続して行っている。

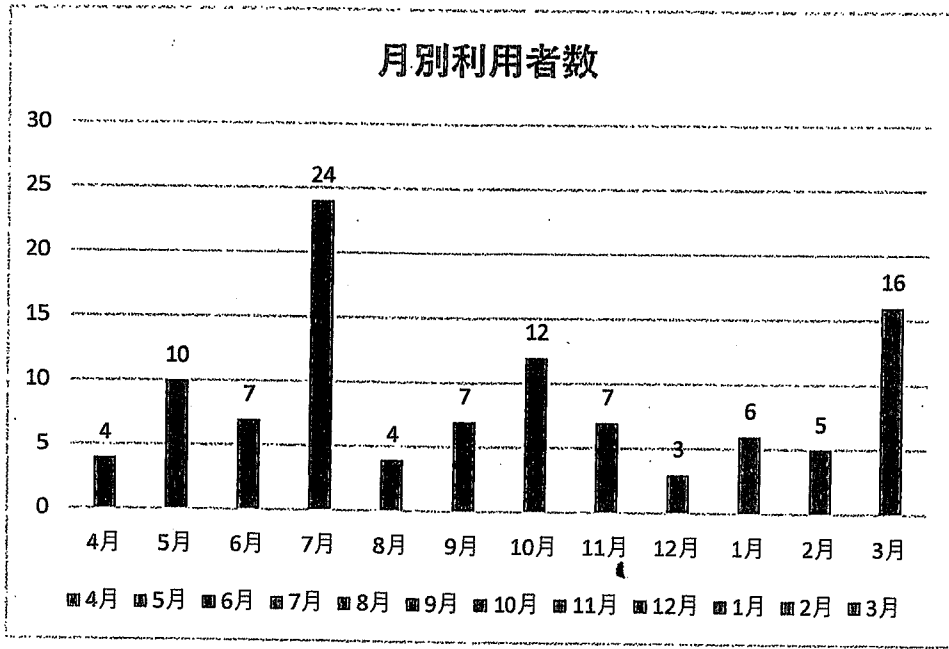
町外からの利用者は昨年度の2倍増え、継続している広報活動により周知されていると考える。

コアラ館のホームページのQRコードを広報きもつきにも掲載しネット上から用紙をダウンロードできるようになった。

病後児保育コアラ館 令和4年4月～令和5年3月 利用者数報告

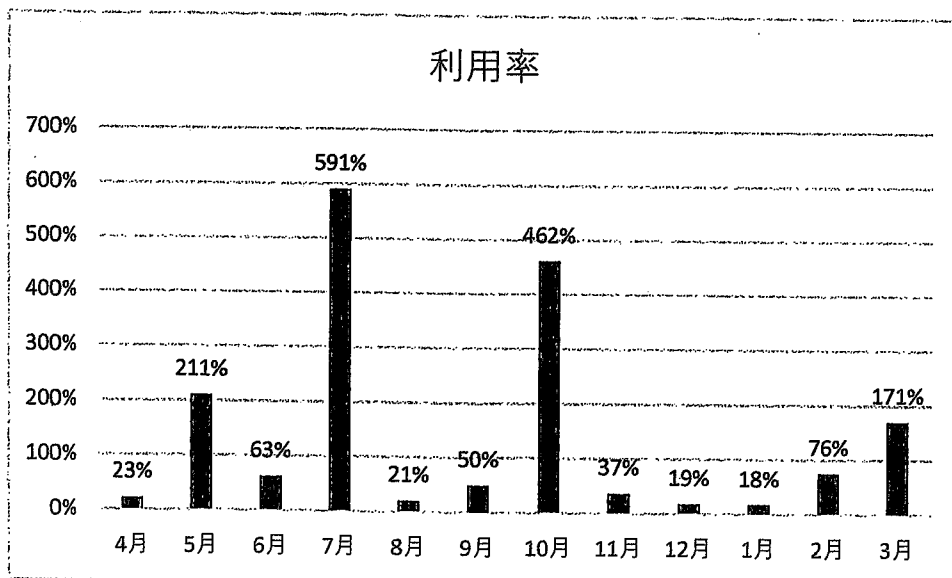
①月別利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	4	10	7	24	4	7	12	7	3	6	5	16	105



②月別利用率(前年比)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用率	23%	211%	63%	591%	21%	50%	462%	37%	19%	18%	76%	171%	86%



令和4年度 高山学童クラブ事業実施報告

1. 状況報告

第Ⅰ高山学童クラブ(1・2・6年生対象,以下「第Ⅰ」),第Ⅱ高山学童クラブ(3~5年生対象,以下「第Ⅱ」)の2支援体制で保育を行う。年間平均、第Ⅰは41名、第Ⅱは42名の登録があり、平日の利用者数は第Ⅰ・第Ⅱそれぞれ30名ほどであった。習い事等により決まった曜日のみ利用する児童や、学童館から習い事に行く児童も見られた。途中退所児童の退所理由は、習い事やスポーツ少年団活動、自宅で過ごせるようになったためであった。

子ども達が主体的に活動できるよう、話し合いの機会を度々設ける。話し合い活動の中では、自分の考えや思いを表明できるような働きかけを心がける。自分達で進めていくことで、遊びや生活がより充実したものとなっていたように思われる。

日々の遊びや生活の中では、『三間(時間・空間・仲間の3つの間)』の保障を意識して行えた。子ども自身がやりたいことを見つけ、仲間と共に試行錯誤する姿が見られた。上級生から下級生への思いやりや下級生から上級生への憧れへの気持ちの芽生えも見られた。

発達や情緒の面での個人差が大きい子へは、日々のミーティングで子どもの様子を伝え合い、支援員の関わり方の見直しや共通理解を図って対応を行った。

感染症対策として、マスクの着用・手洗い・うがい・換気などを子ども達と確認し合いながら進めた。また、コドモンを取り入れ、緊急連絡の周知等に役立てたり、保護者からの休み等の連絡にも利便性を感じられた。

2. 学童クラブにおける支援について

- イ. 学童クラブでの子どもの様子を常に観察し、子どもの抱えている思いを表明できるような関わりを持つことを心がけた。子どもの話に耳を傾け、子ども達の思いに寄り添うことで、子どもとの信頼関係を築き、子ども一人ひとりが安心して過ごすことのできる場となるよう努めた。
 - ロ. 遊べない子へは、遊びを提案し、遊びの場を作る事で他の児童との繋がりを持てるように心掛けた。
 - ハ. 活動計画の作成において子ども達の意見やアイデアを取り入れ、子ども達の「やりたい」という思いを尊重した活動を実践するなど、子ども達の主体的な遊びや生活が可能となるような環境作りに努めた。
- 二. 避難訓練時には、避難の仕方や注意点等についての話し合いを行い、意見を出し合いながら大切なことを確認し、実践を行った。
 - ホ. 『三間』を保障することで、仲間意識や思いやり、集中力、社会性、調整力等を培えるような保育を行った。
 - ヘ. 健康や衛生に関することや日常生活に関することなどの基本的な生活習慣を身に付けられるよう、声かけや話し合いを随時行い、子ども達の意識を高められるよう心掛けた。

3. 職員間の連携

- イ. 日々のミーティングで、情報共有や情報交換、活動の流れの確認、気になる児童のこと等について話し合うことができた。ミーティング時以外でも気になることや気付いたことを確認事項等について確認しながら職員間の連携を図ることがおおよそ出来た。
- ロ. 朝、役割分担の確認をしてから作業に入ることで、自分の役割を各自把握し、協力し合いながら職務に当たることができた。

4. 小学校との連携

- イ. 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、学校行事への参加や小学校施設の利用を控えることとなった。
- ロ. 小学校の行事や日程の確認や学童の在籍児童名簿等を届けるなどの連携を図った。
- 二. 子どもに関する情報の交換や情報共有をすることができた。

5. 家庭との連携

- イ. お迎え時に、学童クラブでの遊びや生活の様子等を口頭で伝え、保護者と情報を共有できるよう努めた。

- ロ. 保護者から相談があった時には、保護者の気持ちを受け止め、共感に基づいた言葉をかけることで、保護者の不安を解消することができるような対応を心掛けた。
- ハ. 学童クラブ通信を月に1回発行し、活動や子ども達の日常の様子等を伝えることができた。
- 二. 新年度の始まる前(3月下旬)に、新規入所児童の保護者を対象とした入所説明会にて、重要事項の説明と入所契約の締結を行った。継続児童保護者に対しては、お迎えの際に口頭でお伝えし、文書でも確認して頂いた上で、入所契約の締結を行った。
- ホ. コドモンで、お知らせや緊急連絡を配信することで、素早く情報を周知することができた。

6. 地域との交流

- イ. 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域行事の中止が相次ぎ、地域の方々との交流の機会を設けることはできなかった。

7. 行事や諸活動について ※(I)… 第I高山学童クラブ, (II)… 第II高山学童クラブ

月	行事	話し合い活動	グループ活動
4	・避難訓練(不審者対策) ・歓迎会	・学童クラブでの生活について(I) (一日の流れ, 気を付けること等) ・かばん棚の配置について(II) ・マスク着用や手洗いの重要性について(I II) ・遊び道具等の後片付けについて(I II) ・午前中の活動(全体活動)について(I II)	・オリエンテーション ・レクリエーション ・学童館周辺の散策 ・鶏(烏骨鶏, チャボ), 小鳥の飼育 ・筍ご飯作り ・鶏小屋の掃除
5	・非常時引渡訓練(小学校)	・夏野菜植えについて(I II) ・道具や用具の使い方について(I II)	・夏野菜の苗, さつまいも苗植えや観察 ・梅狩り, 梅シロップ作り ・たこ焼き, 筍ご飯作り・鶏小屋掃除
6	・絵手紙	・午前中の活動(全体活動)について(I II) ・7月及び夏休みの活動について(I II)	・広場等の整備 ・鶏小屋掃除
7	・避難訓練(風水害) ・緑陰読書会参加	・夏休みの活動について(I II) ・基地遊びについて(I II)	・よく飛ぶ紙ひこうき作り ・プールの準備・基地作り ・そうめん流しの準備
8	・そうめん流し	・午前中の活動(全体活動)について(I II) ・おやつについて(I II)	・弁当作り・スイカ割り・夏野菜収穫 ・スライム作り ・ミニ映画会 ・キーホルダー作り ・大掃除 ・ピザ作り・おやつ作り(sweetday)
9	・クッキング(月見だんご作り)	・午前中の活動(全体活動)について(I II) ・冬野菜作りについて(I II) ・お月見飾りについて(I II)	・だんご作り ・映画会 ・鶏小屋掃除
10	・大隅学童クラブスポーツ交流会	・植える冬野菜の種類について(I II) ・ハロウィンパーティーの内容について(I II)	・冬野菜を植える ・畑の手入れ ・ハロウィンパーティー ・鶏小屋掃除
11	・避難訓練(避難経路確認) ・バスケット交流会	・午前中の活動(全体活動)について(I II) ・12月及び冬休みの活動計画(I II)	・冬野菜の手入れ ・花植え ・芋掘り ・鶏小屋掃除
12	・避難訓練(火災) ・クリスマス会	・活動について(I II) ・冬休みの活動について(I II)	・冬野菜手入れ ・焼き芋, 餅つき ・クリスマス会の準備 ・大掃除
1	・クッキング(スイートポテト作り)	・ドッジボール大会について(I II) ・基地作りについて(I II) ・午前中の活動(全体活動)について(I II)	・冬野菜収穫・ドッジボール大会の進行 ・漬物作り, ピザ作り ・昔遊び, 基地作り
2	・チャレラン大会	・次年度の活動について(I II) ・チャレラン大会種目について(I II)	・干し大根作り ・おやつ作り(卵焼きなど) ・チャレラン大会 ・鶏小屋の掃除
3	・お別れ会	・お別れ会の内容について(I II) ・午前中の活動(全体活動)について(I II)	・玉ねぎ収穫, 花の水やり ・お別れ会準備・ひよこの観察 ・鶏小屋掃除・大掃除 ・ジュース作り

令和4年度 肝付町子育て支援事業実施報告書

高山子育て支援センター ちゃいるどほうす

1、実態について（利用・運営状況）

当センターでは、町の委託を受け次の4つの事業を融合的に取り組んでいる。

①地域子育て支援拠点事業 ②一時預かり事業 ③乳児家庭全戸訪問事業 ④利用者支援事業(基本型)

また、福祉課と連携する養育支援訪問事業では、養育支援ママの養成と養育支援実施における出向・派遣に取り組んだ。講座等の託児においては、託児サポート保育ママを養成し必要に応じた協力依頼を実施した。

コロナウイルス感染症対策については、これまでの経験と行政との確認の下、状況を冷静に把握することに留意し柔軟な利用者対応に取り組んだ。令和4年度の利用状況は開館日数 265 日・年間利用者数 2,653 人(延べ)・1日当たり約 10 人であった。昨年に比べ約 1 割増であった。(資料③)

当センターの情報は、諸施設等での通信掲示とホームページ並びに子育てネットコトコにおいて案内をした。更には妊娠期から子育て期対象者には郵送で案内し、母親の孤立予防に努めた。関係機関の協力(回覧板・保健師からの配布など)や、広報活動として乳幼児健診会場にも足を運び利用者との顔の見える関係作りに努めた。育児講座等の対象者には電話案内にも取り組んだ。(資料①)

目まぐるしい社会変化等により子育てをめぐる環境が課題となる中、コロナ禍での育児は家庭にこもりがちになる傾向を更に強化させ、子育ての大きな担い手となる母親への精神的・身体的負担を増大させたと考えられる。同時に、子どもは体験の機会を得にくい環境となった。相談では子どもへの関わり方に関する疑問・質問が多い中、家庭の問題・子どもの育てにくさと発達遅れの悩みなど途絶えることはなかった。(資料②・④)

内容が複雑かつ深刻なケース(1件)においては、関係機関と連携をとりつつ中期支援型の養育支援訪問事業に取り組んだ。親支援の難しさに度々直面し支援者の資質向上の必要性を痛感した。支援者としての現場対応力、母子援助、乳幼児の発達等を学び合う、月1回の内部研修に取り組み各スタッフの資質向上に努めた。

赤ちゃん訪問は 61 件で昨年度より 5 件増であった。聞き取りから、産後の早期就労予定者は増加傾向(半年未満 15%・1年 60%)であった。産後の体調回復と困りごとの有無などに丁寧に耳を傾けつつ、子育て期の相談窓口案内や情報提供に努めた。(資料⑥)

利用者への対応には、常時、支援員2名を下らないように努めると共に、個別対応では日常会話の中からニーズの把握と育児生活での困り事を一緒に考えていく姿勢に留意した。ケースに応じた社会資源活用の働きかけでは、保健師・助産師と連携し、特に一時預かり保育利用の提案などを行い育児負担や不安の軽減と虐待予防に努めた。

一時預かり事業では、延べ 145 名の乳幼児を預かった。利用時間帯は1日利用約 6 割、半日利用約 4 割であった。保育児数は1日3名までとし、支援員1~2名の配置で対応した。(資料⑤)

全体において事故や怪我は無く、支援員の対応や一時預かり保育料についての相談・苦情等は無かった。

2、事業について

(1) 地域子育て支援拠点事業

イ、 コロナ対策の下、活動に参加いただくことで親子の交流がきっかけとなり母親自身が様々な情報に触れ、子育てについて考える機会になった。リピーターや育児サークル「ひよこっこ」会員においては、利用者同士の交流が深まることで育児の不安などが軽減されていく姿が母親自身の表情や言動から窺えた。(資料①)

子育ての悩みを出し合える場として設定された育児講座では、互いに悩みを共有・共感し合い学び合えたことが子育て生活への前向きな姿勢をもたらしたと考えられ、母親自身への効果は大きいものであったと考えられる。

- ロ、子育ての相談については丁寧に個別対応し、状況に応じニーズに沿った育児講座等の案内と参加の呼びかけに努めることで、日常の育児に役立てて頂いた。当センターでの相談対応だけでは難しい場合には利用者支援事業とも共有し、関係機関や専門職等との連携の下、母子にとって最善の利益となるよう対応に努めた。
- ハ、地域の方のボランティア参加を頂けるよう、当センターで養成・登録された「保育ママ」の方々には必要に応じ協力を頂いた。関係機関と連携の下「元気度アップボランティア」登録の方々には講座等での託児対応に協力頂いていたが、コロナ感染予防と高齢の為という理由から、今年度の登録は無かった。

(2) 一時預かり事業

諸施設等における利用案内チラシの掲示やホームページ等での案内を継続的に取り組むことにより、随時、利用についてのお尋ねや新規登録があった。利用者数は145件で、利用対象児は、乳児(0歳)・1歳児・2～3歳児の順に多かった。利用理由では私的理由(通院、療養、こどもの療育、リフレッシュ)が約7割、就労等によるものが約3割であった。恒常的利用では通院・こどもの療育・就労・リフレッシュ等であった。(資料⑤)

「育児疲れ解消」の為の利用では、肯定的に利用される姿が見られた。母親自身の心身の健康の重要性を認識し、今後も安心して自分の物差しで考え判断頂けるサポートに努めていきたい。

職員が直に子どもに触れる機会となることから、発育発達や関わり方の工夫などが具体的に捉えられる。その際、母親への子ども理解に繋ぐ対応が課題となる。利用されることにより、母親自身の育児に対する不安や困り事などを相談いただく機会にもなった。

(3) 乳児家庭全戸訪問事業

対象件数61件、実施件数61件(乳児数:62名)で、未訪問者は無かった。(資料⑥)

里帰り出産後や退院後に自宅に戻ったものの、育児への不安や負担を抱えて生活されている母親は多かった。夫や家族にその理解と協力を得られる関係があるかないかが重要と考えられる。また、母親の体調不良や気になる家庭状況にある場合、訪問(面談)実施に時間を要した。

母親・児・家族の問題等を抱えるケースについては、毎月の子育て支援定例会において必要な情報の共有を図り適切な対応の実施に努めた。子育て世代包括会議からの報告も含め、育児の不安・負担感や孤立感のある対象者には助産師同伴での面談やスタッフ2名での訪問とし、産後の生活や不安なことについて丁寧な相談対応に努めた。

(4) 利用者支援事業(基本型)

利用者支援事業の周知活動として利用案内やリーフレットの郵送・配布・ホームページ掲載等を随時行い、利用者の社会資源の円滑な利用に繋がるよう努めた。

各事業との情報共有と、妊娠期から子育て期に亘る利用者への丁寧な相談対応に留意した。その内容は幅広く養育支援訪問や医療的ケア児・多胎児育児のケースなどは、子どもの発達とその母親の育児負担や不安軽減が必要と考えられ社会資源活用等を提案し利用に繋いだ。

夫や家族・子どもの育てにくさと発達の悩み等を抱えたケースでは、最善の利益となるようそのマネジメントに努めた。受診・療育に繋がるケースも目立った。(資料④)

養育支援訪問実施の際は、当センターで登録・養成された養育支援ママの訪問派遣と同伴スタッフの調整に努めた。ケースは1件で中期型支援として約9ヶ月:37回の訪問であった。

いずれにおいても関係機関との情報共有と連携は欠かせないものであり、大変重要であった。

令和4年度 地域子育て支援拠点事業活動実施報告書
高山子育て支援センター ちゃいるどはうす

資料①

月	主な活動	育児講座・健診等	月	主な活動	育児講座・健診等
4	育児相談 交流活動 ・すくすくひろば…年齢別 ・遊ぼう会…親子遊び/大きくなったかな? { 多目的広場遊び・好きな遊びはなあに? } ・ちゃいるどはうすひろば ・つながるひろば…地域交流 やぶさめの里公園へ行ってみよう! 育児サークル支援育成 ・ひよっこグループ { 会員募集・体験参加・絵本の読み聞かせ }	講座 パパDay 子育てサロン ・はじめましてサロン ・ようこそ転動ママ	10	育児相談 交流活動 ・すくすくひろば…年齢別 ・遊ぼう会…親子遊び/大きくなったかな? { 秋のおほなし会・散策 } ・つながるひろば…地域交流 リサイクルDay 相談・交流活動 ・ママDay 育児サークル支援育成 ・ひよっこグループ { 散歩・広場であそぼう・運動会ごっこ準備 } ・自主グループBP第30期	講座 ・親子の絆づくりプログラム第31期 ・子どもの救急・アレルギー(小児科) ・ノーバースディーズパーフェクトプログラム第19期 子育てサロン ・はじめましてサロン ・マタニティサロン
5	育児相談 交流活動 ・すくすくひろば…年齢別 ・遊ぼう会…親子遊び/大きくなったかな? { 散歩・絵本を楽しもう } ・つながるひろば…地域交流 肝付町の図書館へ行ってみよう! 相談・交流活動 ・ママDay 育児サークル支援育成 ・ひよっこグループ { 会員募集・体験参加・絵本の読み聞かせ }	講座 ・離乳食について 子育てサロン ・はじめましてサロン ・パパDay	11	育児相談 交流活動 ・すくすくひろば…年齢別 ・遊ぼう会…親子遊び/大きくなったかな? { 散策 } ・ちゃいるどはうすひろば ・つながるひろば…地域交流 本城の大銀杏を見に行こう 相談・交流活動 ・ママDay 育児サークル支援育成 ・ひよっこグループ { 運動会ごっこ・やぶさめの里公園で遊ぼう } { 簡単制作を楽しもう! } ・自主グループBP第30期	講座 ・ノーバースディーズパーフェクトプログラム第19期 特別企画 ・観劇会/11月17日
6	育児相談 交流活動 ・すくすくひろば…年齢別 ・遊ぼう会…親子遊び/大きくなったかな? { 館内あそび } ・つながるひろば…地域交流 リサイクルDay 相談・交流活動 ・ママDay 育児サークル支援育成 ・ひよっこグループ { ゲームを楽しもう・プレゼント作り } { 6月誕生会・しゃぼん玉遊び }	講座 ・親子の絆づくりプログラム第30期 ・噛まない子噛めない子(歯科) 子育てサロン ・マタニティサロン	12	育児相談 交流活動 ・すくすくひろば…年齢別 ・遊ぼう会…親子遊び/大きくなったかな? { 散歩・感触あそび・好きなあそびはなあに? } ・ちゃいるどはうすひろば ・つながるひろば…地域交流 ちゃいるどはうすに行ってみよう! 相談・交流活動 ・ママDay 育児サークル支援育成 ・ひよっこグループ { クリスマス会準備・クリスマス会 } ・自主グループNP第19期	講座 ・噛まない子噛めない子(歯科) ・ノーバースディーズパーフェクトプログラム第19期 ・母乳育児について(助産師)
7	育児相談 交流活動 ・すくすくひろば…年齢別 ・遊ぼう会…親子遊び/大きくなったかな? { 七夕会・しゃぼん玉遊び・水であそぼう } ・つながるひろば…地域交流 町営プールであそぼう ・ひろば パパDay 相談・交流活動 ママDay 育児サークル支援育成 ・ひよっこグループ { 七夕飾り作り・絵本の読み聞かせ } ・自主グループBP第30期	講座 ・赤十字講習会「幼児安全法」 ・母乳育児について(助産師) 子育てサロン ・はじめましてサロン	1	育児相談 交流活動 ・すくすくひろば…年齢別 ・遊ぼう会…親子遊び/大きくなったかな? { 自由あそび } ・ちゃいるどはうすひろば ・つながるひろば…地域交流 節分会 相談・交流活動 ・ママDay 育児サークル支援育成 ・ひよっこグループ { 絵本の読み聞かせ・カレンダー作り }	講座 パパDay(おんぶ体験) 体験コーナー ・試してみませんか? おんぶ 子育てサロン ・はじめましてサロン
8	育児相談 交流活動 ・すくすくひろば…年齢別 ・遊ぼう会…親子遊び/大きくなったかな? { 町営プールであそぼう・水であそぼう } ・ちゃいるどはうすひろば ・つながるひろば…地域交流 町営プールであそぼう 相談・交流活動 ・ママDay 育児サークル支援育成 ・ひよっこグループ { 水あそび・絵本の読み聞かせ }	体験コーナー 試してみよう! 手づかみ食べ&コップ飲み 子育てサロン ・はじめましてサロン	2	育児相談 交流活動 ・すくすくひろば…年齢別 ・遊ぼう会…親子遊び/大きくなったかな? { 節分会・スキップ遊び } ・つながるひろば…地域交流 地域のママと顔見知りになりませんか? 相談・交流活動 ・ママDay 育児サークル支援育成 ・ひよっこグループ { ママのアイデアで親子の写真を撮ろう } { 絵本を楽しもう・簡単おひな様を作ろう }	講座 ・親子の絆づくりプログラム第32期
9	育児相談 交流活動 ・すくすくひろば…年齢別 ・遊ぼう会…親子遊び/大きくなったかな? { 小麦粉粘土・手形足形・好きな遊びはなあに? } ・ちゃいるどはうすひろば ・つながるひろば…地域交流 四十九所神社へ行ってみよう! 相談・交流活動 ・ママDay 育児サークル支援育成 ・ひよっこグループ { 敬老の日によせてプレゼント作り・散歩 }	講座 ・親子の絆づくりプログラム第31期 子育てサロン ・はじめましてサロン ・ようこそ転動ママ	3	育児相談 交流活動 ・すくすくひろば…年齢別 ・遊ぼう会…親子遊び/大きくなったかな? { ひなまつり会・リサイクルDay } ・ちゃいるどはうすひろば ・つながるひろば…地域交流 地域のママと顔見知りになりませんか? 相談・交流活動 ・ママDay ・パパDay 育児サークル支援育成 ・ひよっこグループ { お楽しみ会 } ・自主グループNP第19期	講座 ・赤十字講習会「幼児安全法」 子育てサロン ・マタニティサロン ・はじめましてサロン 春休み企画 ・多目的広場であそぼう

内容 / 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
基本的 生活習慣	睡眠			1			1		1			2	3	8	
	食事	授乳			1	1	2	1	1	1				4	11
		離乳食	1	1			1	1			1	4	4	2	15
		食事		1											1
	排泄													0	
離乳 (断乳・卒乳)				1		1		1			2			5	
発育・ 発達	寝返り・座位・ほふく・歩 行・箸使い(手指)									1		1		2	
	身体の発育										1			1	
	(言語・コミュニケーション)		1			1						1		3	
	(社会性・他者への関心)								2					2	
	(加減・不器用さ)	2		1									1	4	
	(くせ・こだわり)													0	
	(心・衝動性・無気力)	1										1		2	
医学的問題				1		2		2				1		6	
環境	家庭 (夫婦/一人親/家族 /子ども/経済面)			2	1						1		1	5	
	生活(近隣・地域) (遊び場/地域交流)													0	
育児 方法	健康													0	
	子どもとの関わり方	1		4	1	1	2	2	2	1	2		6	22	
	しつけ					1								1	
その他	子育て情報 (就園/就労/療育)						2				1		1	4	
	育児に関係あり					1							1	2	
	育児に関係なし						1							1	
面接相談		5	3	11	3	10	8	6	6	3	11	10	19	95	
電話相談		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
合計		5	3	11	3	10	9	6	6	3	11	10	19	96	

令和4年度 子育て支援 月別利用者集計表

資料③

月合計 / 開館日数	利 用 者 数																合計 総数
	大人		子供		0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		合計		
	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	外	
4月 / 22日	18	27	18	30	8	13	5	13	4	4	1	0	0	0	36	57	93
5月 / 22日	29	29	23	36	12	15	3	10	8	11	0	0	0	52	65	117	
6月 / 23日	83	64	72	75	50	41	9	12	12	17	0	5	1	155	139	294	
7月 / 22日	51	60	48	73	25	35	9	15	8	16	1	6	5	99	133	232	
8月 / 22日	24	24	25	26	8	17	8	2	4	5	2	1	3	49	50	99	
9月 / 22日	52	38	49	43	31	32	10	2	7	5	1	4	0	101	81	182	
10月 / 22日	79	74	71	76	46	53	15	7	9	11	1	5	0	150	150	300	
11月 / 22日	88	62	83	67	49	32	24	15	9	18	1	2	0	171	129	300	
12月 / 22日	77	44	53	50	34	23	15	12	4	8	0	6	0	130	94	224	
1月 / 22日	32	42	29	46	13	19	13	19	2	3	1	5	0	61	88	149	
2月 / 22日	71	75	65	87	43	25	21	40	1	11	0	11	0	136	162	298	
3月 / 22日	87	87	79	112	47	30	22	57	10	11	0	14	0	166	199	365	
総合計 / 265日	691	626	615	721	366	335	154	204	78	120	8	59	9	1,306	1,347	2,653	

※ 開館日数 265日 ・ 1日あたり 10.01 人

相談内容		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
基本的生活習慣	睡眠									1				1	
	食事	授乳		1	1		2	1		1		1	2	1	8
		離乳食	2	7	2	1	2	1		1		1	2		19
		食事		2	1					1		2	1	1	7
	排泄													1	
離乳（断乳・卒乳）								1					1	2	
発育・発達	寝返り・座位・ほふく・歩行 箸使い(手指)			1		1	3	2	2	2		3	3	17	
	身体の発育								1				1	2	
	言語・コミュニケーション		1					1	1		1		2	6	
	社会性・他者への関心							1						1	
	力加減・不器用さ														
	くせ・こだわり・かんしゃく	1									1		2	4	
	心・衝動性・無気力			2			1						1		4
医学的問題		1	1	2	1	1		2	1	1		1		8	
環境	家庭	夫婦			1	3	1	1	1	1		1	4	11	
		ひとり親				2							1	1	
		家族	3	1	2		1	1	1			3	4	3	19
	生活(近隣・地域)					1			1		1	1		4	
育児方法	子どもとの関わり方	1	4	1	3	1	2	3	5		3	2	6	31	
	しつけ				1						1		1	3	
社会資源	就園・就学・預け先		1	2	2	2	3	2			1		2	15	
	療育・親子教室	1		1										2	
	就労												1	1	
	その他の社会資源			1			1			1				2	
その他	育児に関係あり							1						1	
	育児に関係なし														
面接相談		9	17	15	8	13	12	14	13	6	13	19	28	167	
電話相談		0	1	3	4	4	4	3	5	1	1	0	1	27	
合計		9	18	17	12	17	16	17	18	7	14	19	29	194	

一時預かり事業 令和4年度 利用人数集計表

資料⑤

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	半日	5	2	5	4	4	6	0	5	1	0	1	3	36
	一日	0	1	0	0	0	0	2	2	7	6	7	16	41
1歳	半日	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	9	12
	一日	3	1	0	0	0	0	1	11	9	3	8	0	36
2歳	半日	0	0	0	4	0	0	1	1	1	0	0	0	7
	一日	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	12
3歳	半日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
4歳	半日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	(半日)	5	2	5	8	4	6	1	7	3	0	2	12	55
	(一日)	6	3	0	0	0	0	3	13	16	9	15	25	90
		11	5	5	8	4	6	4	20	19	9	17	37	145

利用区分別集計表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	区分合計
緊急	0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
就労就学理由	0歳	0	0	1	1	0	0	1	2	3	2	4	11	25	34
	1歳	2	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	7	
	2歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
私的理由	0歳	5	3	4	3	4	6	1	6	5	5	3	7	52	111
	1歳	1	1	0	0	0	0	1	8	8	2	9	8	38	
	2歳	1	0	0	4	0	0	1	1	1	0	1	11	20	
	3歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	4歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0歳	5	3	5	4	4	6	2	8	8	7	7	18	77	145
	1歳	3	1	0	0	0	0	1	11	10	2	9	8	45	
	2歳	3	0	0	4	0	0	1	1	1	0	1	11	22	
	3歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	4歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
備考	療育 就労 ハローワーク	ハローワーク	病院 療育 療育 就労	病院 療育 療育 免許更新	療育 病院	病院 療育 療育 検診	就労 美容院 買い物 体調不良	病院 体調不良 就労 病院 リフレッシュ	体調不良 就労 リフレッシュ	就労 リフレッシュ 体調不良 病院	就労 リフレッシュ 病院	就労 リフレッシュ 病院			

乳児家庭全戸訪問事業

令和4年度実施報告書

資料⑥

月	訪問件数	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	多胎児 (乳児数)	センター来館	備考
4	5	1	3	1			助産師同席 1件(健診会場)
5	4	1	2	1		1	来館本人希望 1件
6	5	3	2				
7	5	3	2				
8	6	3	3			1	来館本人希望 1件 鹿屋市住居 1件
9	5	4	1				
10	6	1	5				
11	3		1	2			
12	4		3	1			鹿屋市住居 1件
1	7		5	2			鹿屋市住居 1件
2	6	2	4		1(2)		双子 1件(3か月)
3	5	4	1				
合計	61	22	32	7	1(2)	2	

<訪問件数 61件 ・ 乳児数 62名>

*未訪問乳児:0件

*上記については福祉課・保健師との情報交換・連携済み